

令和元年度  
(2019 年度)

# 社会教育部の運営方針

## <部の構成>

社会教育課、放課後子ども課、文化財課、スポーツ振興課、中央図書館

## <担当事務>

- (1) 社会教育に係る調査研究、企画立案に関すること。
- (2) はたちのつどいに関すること。
- (3) 留守家庭児童会室に関すること。
- (4) 文化財に係る調査研究、保存活用に関すること。
- (5) 埋蔵文化財の発掘調査に関すること。
- (6) 社会体育及びスポーツ・レクリエーションに関すること。
- (7) 図書館サービスに係る企画・運営に関すること。
- (8) 所管施設の管理運営に関すること。

## <部の職員数>H31 年 4 月 1 日現在

正職員	68 名
再任用職員	11 名
任期付職員	220 名
非常勤職員	57 名
合計	356 名

※他団体等への派遣職員、臨時職員を除く

## 1. 基本方針

社会教育部は、児童の放課後を豊かにする施策をはじめ、生活に必要な基礎的な知識・技術に関する学習機会の提供、図書館の充実、文化・芸術・歴史・スポーツに親しめる環境づくりなどに関する事務を担っています。

令和元年度（2019 年度）は、「『児童の放課後を豊かにする基本計画』の策定」、「社会教育の推進」、「留守家庭児童会室のあり方の検討」、「歴史文化遺産の保存・活用（特別史跡百済寺跡再整備事業）」、「スポーツ施策の推進」、「香里ヶ丘図書館・中央公園の一体的整備」、「学校図書館支援事業の推進」、「市駅周辺の図書館機能の充実」を重点施策に掲げ、市民のまちへの愛着やふるさと意識を育むことにより、「選ばれるまち」、「豊かで誇りある枚方」の実現に取り組めます。

## 2. 重点施策・事業

### (1) 「児童の放課後を豊かにする基本計画」の策定

方向性	昨年度に続き小学校内で実施する放課後子ども教室モデル事業の実施結果及び児童の放課後対策審議会における調査・審議も踏まえ、子どもにとって望ましい「放課後」の実現に向け、既存事業との関係性についても検証し、本市の実情に応じた「児童の放課後を豊かにする基本計画」を策定します。
取り組み	放課後子ども教室モデル事業を市立 4 小学校において、今年度は夏季期間を中心に実施し、利用者（児童・保護者）のニーズの実態や事業効果、学校や既存事業との関係における課題を分析・検証します。また、児童の放課後対策審議会における調査・審議も踏まえ、効率的・効果的な児童の放課後対策に向けた「児童の放課後を豊かにする基本計画」を令和元年度（2019 年度）中に策定し、放課後子ども教室事業の本格実施に向けた準備を進めます。
	平成 31 年度当初予算：5,626 千円

<b>(2) 社会教育の推進</b>	
<b>方向性</b>	生涯学習の一助となる、人が地域で生活するのに必要な基礎的な知識や技術等を学ぶ機会を提供し、学習する主体の形成を図ります。
<b>取り組み</b>	<p>市民が主体性を持って、地域の人々とともに生きられるよう、子育てや親への支援を行う家庭教育支援事業、暮らしに役立つ社会制度等についての情報や知識を学ぶ社会教育基礎講座、人権を擁護し、尊重することの大切さについて、市民の気づきを促す社会教育（人権）講座等の開催のほか、枚方市日本語・多文化共生教室「よみかき」を実施します。</p> <p>各事業の実施に当たっては、必要な人に必要な情報が届くよう、適切な周知に努めます。</p> <p>《目標値》 講座等の募集人数に対する参加者の割合（80.0%）</p> <p>平成31年度当初予算：6,219千円</p>

<b>(3) 留守家庭児童会室のあり方の検討</b>	
<b>方向性</b>	放課後子ども教室の本格実施を見据え、民間活力の活用や適切な施設整備など、事業の再構築に向けた検討を行います。
<b>取り組み</b>	<p>留守家庭児童会室の利用ニーズが急増し、その受け皿の確保や専用施設の老朽化への対応が課題となる中、「新・放課後子ども総合プラン（平成30年9月）」では、「放課後児童クラブ※と放課後子ども教室を小学校内で一体型として1万箇所以上で実施」、「両事業を新たに整備等する場合には学校施設を徹底的に活用」等目標が掲げられました。※本市では留守家庭児童会室のことをいう。</p> <p>放課後子ども教室など他の事業の実施趣旨や目的を踏まえつつ、民間活力の活用も含め検討を進めます。また、良好な授業中の学習環境と放課後の保育環境を併せ持つ校舎整備について検討を行います。</p> <p>《目標値》 令和2年（2020年）1月末時点の待機児童数（0人）</p> <p>平成31年度当初予算：57,800千円（施設整備経費）</p>

<b>(4) 歴史文化遺産の保存・活用（特別史跡百済寺跡再整備事業）</b>	
<b>方向性</b>	市内の貴重な歴史文化遺産を活用し、まちへの愛着を育むため、整備後50年以上が経過している「特別史跡百済寺跡」について、抜本的な遺構保存工事と合わせ、憩いの場となる史跡公園としての再整備を進めます。
<b>取り組み</b>	<p>引き続き、再整備工事を行い、堂塔院内及び回廊西半分の土系舗装と基壇の張芝、また南門礎石レプリカの設置を行うとともに、築地塀の復元基本設計を行います。</p> <p>当初計画より整備の遅れが生じているため、これまでの整備工事の進捗を踏まえ、年度ごとの整備計画を見直し、完了に向けて取り組んでいきます。</p> <p>また、百済寺跡や楠葉台場跡等の史跡の活用については、保存とのバランスを考慮</p>

	<p>しながら関係部署と連携し、引き続き取り組んでいきます。</p> <p>《目標値》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・再整備工事の進捗管理</li> <li>・築地塀の復元基本設計の進捗管理</li> </ul>
	平成 31 年度当初予算：122,849 千円

<b>(5) スポーツ施策の推進</b>	
<b>方向性</b>	<p>平成 29 年 3 月に策定した「枚方市スポーツ推進計画」に基づき、スポーツに関わる関係部署・団体等と連携・協力し、各種スポーツ活動の推進と施設の利用環境の整備に向けた取り組みを行います。また、東京 2020 オリンピック・パラリンピックに向けての施策を進めます。</p>
<b>取り組み</b>	<p>「枚方市スポーツ推進計画」に基づき、庁内各所管部署で取り組む施策と事業に関し、有識者、専門家・市民等で構成する枚方市スポーツ推進審議会からの点検・評価を受け、また助言を受けながら事業の見直しや進行管理を行います。</p> <p>《目標値》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・計画に基づくスポーツ事業の実施</li> <li>・効果的・効率的な事業の実施</li> <li>・PDCA サイクルによる事業の効果検証</li> </ul> <p>令和 9 年度（2027 年度）末までに、週 1 日以上スポーツに取り組む成人の割合 65.0%程度</p> <p>令和 9 年度（2027 年度）末までに、週 3 日以上スポーツに取り組む成人の割合 30.0%程度</p>
	平成 31 年度当初予算：330 千円

<b>(6) 香里ヶ丘図書館・中央公園の一体的整備</b>	
<b>方向性</b>	<p>隣接する香里ヶ丘中央公園との一体的整備を進め、また機能連携を図りながら、香里ヶ丘地域のまち全体の魅力を高めるとともに定住促進につなげていきます。</p>
<b>取り組み</b>	<p>香里ヶ丘図書館については、平成 31 年 4 月から建物新設工事を行います。</p> <p>また、図書館と公園（みどりの広場）の管理手法については、指定管理者制度を導入し、民間ノウハウを活用した効果的・効率的な運営を行っていきます。</p> <p>休館中の代替サービスとして、南部生涯学習市民センター1 階で予約図書の出借を行うとともに、香里ヶ丘中央公園での自動車文庫巡回等を引き続き行います。</p> <p>《目標値》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な工事進行</li> <li>・管理手法の確定</li> </ul>
	平成 31 年度当初予算：539,022 千円

<b>(7) 学校図書館支援事業の推進</b>	
<b>方向性</b>	読書好きの子どもを育み、児童・生徒の学力向上につながるよう、小中学校図書館の機能充実に向けた支援を強化します。 学校図書館と市立図書館との共用の蔵書データベースの有効活用を進めるとともに、児童・生徒の読書活動および学習活動の充実を支援します。
<b>取り組み</b>	全 19 中学校区に配置している学校司書や、学校図書館システムの管理・技術的支援とともに、施設環境整備を行うなど、学校図書館の機能充実を図ります。また、「学校教育支援用団体貸出」、「子どもに本を届ける事業」等を行うほか、児童・生徒の読書意欲向上に資するため「ビブリオバトル」等イベントの充実に取り組みます。 <<目標値>> 「ビブリオバトル」への中学校（市立 19 校、私立 2 校）の参加率 100% 平成 31 年度当初予算：7,032,000 円

<b>(8) 市駅周辺の図書館機能の充実</b>	
<b>方向性</b>	市の中心拠点・駅近のメリットを生かして、市の魅力をアピールし、定住促進に寄与できるよう、行政機能の一つである「図書館機能」の充実に向けた検討を進めます。
<b>取り組み</b>	子育て世代を中心としたニーズを踏まえ、市駅周辺を利用する市民等に市の魅力をアピールできる図書館機能の具体化について検討を進めます。 <<目標値>> ・適切な工事進行 ・管理手法の確定

### 3. 行政改革・業務改善

#### ◆新行政改革実施プランの改革課題

改革課題	取り組み内容・目標
2. 来庁者・利用者駐車場の有料化の実施	スポーツ施設については、令和元年度（2019 年度）から指定管理者の業務に含めた総合スポーツセンター（第 1・第 2 駐車場・春日テニスコート）、渚市民体育館、伊加賀スポーツセンターの有料駐車場における適正利用を促進します。 また、中央図書館及び各分館については駐車場利用実態調査を踏まえ、引き続き関係課と検討・調整を進めます。
11. 市立学校園の施設開放事業の見直し	市立学校園施設開放事業と市立小中学校体育施設開放事業について、令和 2 年（2020）4 月からの事業統合に向け、施設使用の申請手続きを統一するなど合理化を図り、使用料金の徴収を実施できるよう取り組みます。

14. 外郭団体等の経営健全化の促進	公財)枚方体育協会については、平成29年度に本市が実施した「外郭団体等の経営状況等の点検・評価結果」を受け、枚方体育協会との協議を適宜行うとともに、「自立経営の実現」に向けた取り組みを促します。また、令和元年度(2019年度)中にこれまでの市民スポーツ振興事業補助金を再度精査し、補助の必要性や効果の高い対象経費の検討を進めます。
37. 留守家庭児童会室の効率的・効果的な運用	学校施設を活用した放課後子ども教室モデル事業の検証結果や「児童の放課後を豊かにする基本計画」を策定する中で、留守家庭児童会室のあり方について検討を進めます。
38. 野外活動センターの最適化	野外活動センターの進入路について、土地所有者(畜産組合等)と維持管理協定について継続して協議を行います。 また「学校キャンプ支援事業」を継続実施し、センターを効率的かつ効果的に運営できるよう施設の最適化に向けた検討を進めます。
39. 図書館施設の効率的・効果的な運営	「枚方市立図書館分室等の見直しに関する基本的な考え方」に基づき、地域等と協議を進め、香里ヶ丘図書館周辺の3分室(釈尊寺、茄子作、東香里)の見直し計画を策定します。
40. 指定管理者制度の拡大	指定管理者制度を導入した楠葉・蹉跎・御殿山・牧野・津田・菅原の生涯学習市民センターと図書館の複合6施設について、モニタリング等により、運用状況の検証を行います。
45-2. 技能労務職員の適正配置に向けた取り組み(留守家庭児童会室営繕業務)	営繕業務については、具体的な実績の精査を行い、より効率的・効果的な運営を図る観点から、引き続き委託可能な業務の整理を行います。
52. 市内スポーツ施設の効率的・効果的な管理運営	市長部局が所管する公園内のスポーツ施設と、教育委員会が所管するスポーツ施設について、効果的・効率的な運営を図るため、料金体系の一元化等、引き続き関係部署と協議を進めます。

#### ◆業務改善のテーマ・目標

テーマ	取り組み内容・目標
「朝夕ほうこく」で仕事が見える化	朝礼で一日の業務・作業予定を報告、終礼で進捗状況を報告することにより個人の仕事が見える化し、その内容を組織で共有化することにより業務の効率化を図り、時間外勤務を削減します。

## 4. 予算編成・執行

- ◆文化財保存事業に国庫補助金の活用を図ります。(4件 2億9,884万6,000円)
- ◆市民スポーツ振興事業補助金について再度精査し、個別事業補助金として補助の必要性や効果の高い対象経費を検討、整理します。(664万1,000円)
- ◆香里ヶ丘図書館建替え事業に社会資本整備総合交付金(国費)の活用を図ります。(令和元年度(2019年度) 2億5,297万7,000円)

## 5. 組織運営・人材育成

- ◆指定管理者制度の導入拡大や児童の放課後施策等の新たな取り組みにおいても質の高いサービスを確保するため、各分野の職員が日常業務や職員研修を通じて、担当する分野の専門的な知識や技術を習得することで、個人及び組織としての能力の向上を図ります。  
また、留守家庭児童会室の保育の質の向上を図るため、従事する職員に対する体系的な職員研修を行います。
- ◆長時間労働の縮減及び職員のワーク・ライフ・バランスを図るため、職場内の業務協力を円滑にできるよう、コミュニケーションの充実に取り組みます。

## 6. 広報・情報発信

- ◆市民のスポーツ活動や毎月の図書館行事など各種社会教育事業の実施にあたっては、必要な情報がより多くの市民に伝えられ、事業の効果が高まるよう、広報やウェブサイト、SNS等、様々な媒体を使って情報発信に努めます。
- ◆中・高校生向けの本のリスト「中学生・高校生向けのおすすめの本」を市内各中学校、高校へ配布し、図書館について周知するとともに読書意欲の向上を図ります。
- ◆社会教育部の取り組みなどを広く発信するためPR動画を作成し、市民等に周知を図ります。